

「障害のある人が作ったから」ではなく「商品が良いから」  
福祉から市場へ、新しいビジネススタイルの提案

## ものを作る喜び

特定非営利法人エクスクラメーション・スタイルは、障害者支援施設の仕事をしていた吉野智和さんと、現・同法人の理事長である田中純輔さんとの出会いから始まりました。田中さんは今も宇治市植物公園内のレストラン、京都市内ホテル地下の和食ダイニングバー、イタリアンレストランの3軒の飲食店を運営する株式会社の社長です。

作業所の商品の営業に廻っていた吉野さんは、田中さんの次の言葉に衝撃を受けます。それは「障害者施設は国費が投入されて成り立っている。だったらその資源、機械や人手を使った生産活動は、もっと一般ビジネス市場に通用するものをめざし、社会に還元すべきなのではないか?」というものでした。

「たしかに、よく“障害のある人たちが作った作品だから買ってください”と言います。でも本当に良いものだから求めてもらうのが障害者にとっても喜び、働きがいのはずなんです」。吉野さんは当時を振り返ります。

吉野さんと田中さんはその後、作業所などの福祉施設と一般市場をつなぐいわゆる中間支援の活動を始め、その後、自分たちで障害のある人の就労を直接支援していくモデルを作ろう、と平成19(2007)年に特定非営利活動法人エクスクラメーション・スタイルを立ち上げます。



エクスクラメーション・スタイルの陶器作品

## 弱みを強みに

「クルー（同法人では法人で働く障害者をこう呼ぶ）たちは、みな知的障害や精神障害があり、一般就労はハードルが高い。だけど彼らには反復性があり、手間のかかる仕

## 福祉の向上・子育て支援

事に飽きることなく集中できるという強みがあります」。

こうした彼らの特質をよく理解したデザイナーと指導者のサポートのもとで同法人ではデザイン性にすぐれ、暖かみのある陶器や工芸品など、クオリティーの高い商品を発信してきました。

平成22(2010)年には日本産業デザイン振興会主催の「グッドデザイン賞2010」を受賞。東京ビッグサイトで年2回行われている雑貨関係で日本最大級の見本市「東京インターナショナルギフトショー」では10社と取引が成立し、現在も数10社と商談中です。同法人はこれまでも、通販のフェリシモ、テキスタイルのLUSH、パスポートなど、いわゆる大手企業の仕事も数多く手がけてきました。

「こうした企業サイドから見れば、手作りの商品が100個、200個単位で発注できるところは、これまでなかったのです。手づくりで形が揃わない、大量ロットがこなせないという、僕たちが弱みだと思っていたことが、実は逆に強みになる。そこに“手づくり”という付加価値や、さらに障害者の支援になるという企業の社会貢献性(CSR)のアピール、いろいろなストーリーを乗せることができるわけです」。

こうしたコンセプトに新たな価値を見いだした企業から、商品の注文が寄せられているのです。



調理作業中のクルーたち

## ファンド事業～厨房のアウトソーシング

同法人が陶器などの製作と共に、新しい事業部門として力を入れているのが、食品加工や飲食店の調理仕込み作業を請け負うセントラルキッチン事業です。21(2009)年度のファンドの協力を得て、この事業を強化させる急速冷凍装置「ブラストチラー」を導入しました。真空パック、スチームコンベクションオープンとの併用で、より安全でおいしいクックチル調理、調理請負作業が可能になりました。

大規模レストランなら下調理は見習いコックさんがやる仕事でしょう。ところが小さなお店では、料理長自らがやらなければなりません。「その作業を僕らに任せてください。

お店ではその分、一手間加えてください、という提案です。だから僕たちが提案するビジネスモデルは、アウトソーシング=コストカットにはつながらない。あくまでもおいしいものを提供してお客さんに喜んでもらい、リピーターが増え売り上げアップになって、はじめてペイできる。コストカットや合理化だけではない付加価値。僕たちが提示するのはそういうビジネスモデルなのです」。吉野さんは語ります。



導入した急速冷却装置

## ダイニングカフェのオープン

「うちの調理現場を見学に来られると、そのストイックさにみなが一様に驚かれますよ。プロの料理集団に見えるらしいです」。

現在、クルーの登録数は28人。平均して一日に来るのは24人程度です。一般就労へ移行した人もすでに5人います。こういうかたちの就労支援があることを、市場にも福祉業界にも提示しなかった、と吉野さんは言います。

「平成23(2011)年2月、三条新町を上がった場所に、直営のダイニングカフェをオープンする予定です。ゆくゆくはこのカフェをオープンキッチンにし、働く姿を直接見てもらいたい。いままでは商品を通じて障害のある人の仕事を伝えてきましたが、働く姿そのもので伝える方法を試みたいと思っています」。

社会全体が「安さ」や「早さ」だけではない価値に気づき始めている現代、福祉分野からビジネス市場へのこうした提言は、今後、大きな意義をもつことを期待します。

### 事業概要

特定非営利活動法人 エクスクラメーション・スタイル  
<http://www.ex-style.jp/>

代表：田中純輔

業種：障害者就労支援施設として陶器製品製作事業 食品加工事業  
創業：平成19(2007)年 設立：平成18(2006)年  
住所：〒614-8182

八幡市上津屋南村7  
TEL：075-983-8966 FAX：075-950-9850



吉野智和さん